

学校・家庭・地域連携協力推進事業

アナ： 「市長が語る 2022 三島」第 21 回の今日は、「学校・家庭・地域連携協力推進事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 最初に、「学校・家庭・地域連携協力推進事業」ということですが、一体どのような内容の事業なのでしょうひか。

市長： 「学校・家庭・地域連携協力推進事業」とは、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域ぐるみで子どもたちを育む体制を築いていくというものです。

学校が地域の皆様と教育の目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てていくことや、教育支援が行き届きにくい家庭への対応を充実させることを目的としており、「地域学校協働本部事業」と「家庭教育支援事業」がござひます。

アナ： 「地域学校協働本部事業」とはどのようなものなのでしょうひか。

市長： はい。「地域学校協働本部事業」ですが、市内にござひます 21 校全ての市立小中学校において、学校、地域の皆様、PTA 関係者などで構成される「地域学校協働本部」が置かれてひます。

ここで、学校や地域での課題を協議し、コーディネーターと呼ばれる推進員が中心となって地域の方々に呼びかけ、子どもたちの教育を充実させていくために、様々な活動を行ってひます。

アナ： 現在、地域学校協働本部で行っている活動はどのようなものがありますか。

市長： 地域のボランティアや大学生の方々にご協力いただき、「絵本の読み聞かせ」や「放課後の学習支援」、子どもたちが安全に登下校できるように見守りをする「スクールガード」など、その学校や地域の実情に応じた様々な活動をしていただひております。

アナ： なるほど、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えているわけですね。次に「家庭教育支援事業」では、どのような取り組みをされているのでしょうか。

市長： はい。三島市では、全ての保護者の皆様が安心して家庭での教育を行えるよう、家庭教育支援員、通称「家庭教育アドバイザー」を配置し、要望に応じて出向き、「家庭教育支援講座」や「個別相談会」を開催しております。

アナ： 「家庭教育支援講座」と「個別相談会」は、具体的にはどのようなものなのでしょうひか。

市長： 「家庭教育支援講座」では、お子様の成長の過程で生じる様々な悩みや問題を、同じ子育てをする方と共有したり、親としての心構えや対処法についてアドバイスを受けたりすることができます。

講座の内容といたしましては、「子どものほめ方やしかり方」、

「子どもとのかかわり方や程よい距離感の取り方」、
「ケータイ・スマホ・ゲームとの付き合い方」など、ご家庭の実情に合ったものになるように工夫しています。

一方、「個別相談会」は、子育ての不安や悩みについて、アドバイザーがじっくりとお話を聞き、豊富な経験からアドバイスをさせていただくというものです。

アナ： なるほど。ためになる講座や、個別相談を受けることができるんですね。
ちなみに、先ほど「家庭教育アドバイザー」を配置されているとのことでしたが、どのような方が就いていらっしゃるのでしょうか。

市長： 長年にわたって子どもたちや保護者の皆様と関わってこられた小中学校の元先生方をはじめ、静岡県知事から委嘱され、家庭や地域における子育てについて助言を行っている「静岡県人づくり推進員」など、経験豊かな方々がいらっしゃいます。

アナ： 家庭教育のスペシャリストということですね。それは頼りがいがありますね。
最後に何かお伝えしたいことはありますか。

市長： はい。三島市では今後も学校・家庭・地域が、パートナーとして互いに連携・協働して、地域ぐるみで子どもを育てる様々な取り組みを実施していきたいと考えております。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。